

森のひろば

近畿中国森林管理局

大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763

<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp>



謹賀新年

INDEX

- 02 年頭のご挨拶
近畿中国森林管理局長
朝比奈 清
- 03 平成20年度 森林・林業
技術交流研究発表会を開催
指導普及課
- 04 民有林と連携した森林整備
計画課
- 06 山頂から360度の眺望
「高御位山国有林」
兵庫森林管理署
- 07 各署等の取組・行事の紹介
- 08 シリーズ 森を守る
落石の被害を防ぐ
治山課



がぎゅうさん 臥牛山国有林（岡山県高梁市）
干支の山「臥牛山」

岡山県高梁市街地の北方に位置する臥牛山は、山容が伏せた牛の姿に似ていることからこの名が付けられました。臥牛山国有林は、「森林の巨人たち百選」に選ばれたアベマキを代表とする植生のほか、天然記念物に指定されている「臥牛山のサル」の生息地となっているなど、変化に富んだ貴重な自然環境を有し、岡山県内でも有数の動植物の宝庫となっています。

森への誘い

近畿中国森林管理局ホームページでは、管内国有林の美しい風景や名勝、保護林、巨木などの貴重な動植物のほか、国有林における主な取組などの写真を毎月、スライド形式で紹介しています。第5回目は和歌山の国有林です。是非ご覧下さい。

<http://www.kinki.kokuyurin.go.jp/kyoku>



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を使用しています。

年頭のご挨拶

近畿中国森林管理局長 朝比奈 清



平成21年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様には、ますますご健勝で新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

さて、昨年4月の就任以来、駆け足で管内2府12県を回ったところですが、当局の管内は、東は石川県から西は山口県に及び、それぞれの地域や森林の多様性、更には手入れの遅れた森林の増加を改めて実感するとともに、各地で森林づくりや地域の活性化に向けて多くの方が一生懸命取り組んでおられる様子を拝見して参りました。

中山間部に入って行きますと都市との格

差の拡大や高齢化、人口減少など、いわゆる中山間地問題が顕著で、このままでは森林や農地の維持保全が益々難しくなるのはこの危惧を改めて持った次第です。各種の対策は行われているものの、なかなかこれという決め手はなく、地道な取り組みの積み重ねが大切ではないかと思いますが、国土の3分の2を占める森林、これを何とかもつと活用できないかと常々考えているところです。

森林の約4割を占める人工林資源は成熟してきており、国有林でも低コスト路網と高性能機械の導入による生産性の高い間伐を、共同施業団地化など民有林との連携を強めながら一層促進し、国産材の利用拡大を軸に地域への木材の安定供給を行うとともに、山の状況に応じて針広混交林や広葉樹化を図るなど、「美しい森林づくり」に向けた取組みを更に進めたいと考えております。

わが国の森林は水源涵養や自然環境保全、災害防止といった機能のみならず、今、世界の大きな課題になっている地球温暖化防止のための二酸化炭素吸収源としての役

割や、再生可能で炭素固定機能を有する木材や木質バイオマスの供給源としても再び注目されはじめています。また、当局管内の国有林には、一般市民やNPO、近年は企業の方々も憩いと安らぎを求め、あるいは森林ボランティアとして訪れる森林が数多くあります。森林や山村に対する国民の理解をさらに深めるため、国有林の森林環境教育、レクリエーション、ボランティアあるいは都市・山村交流の場としての活用や、保護林、緑の回廊の推進等による生物多様性の増進、森林景観の向上など、多様な森林づくりを進め、地域の活性化に少しでもお役に立てればと考えております。更に、安全で安心して生活できる地域づくりのための治山事業や保安林整備、鳥獣害対策なども積極的に推進していく予定です。

最近の森林・林業・木材産業を取り巻く情勢は急速な景気後退が生ずる中、非常に厳しいものがありますが、以上のような対策を着実に推進し森林管理局としての使命を果たして参りたいと考えております。そのためには、関係する皆様や地域、国民の皆様のご理解、ご協力が不可欠であり、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方の本年のご多幸とご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



共同施業団地内における間伐と路網の整備状況（島根署 八川国有林）



小学校教員を対象とした森林環境教育セミナーの様子

平成20年度 森林・林業交流研究発表会を開催

11月13日、14日、近畿中国森林管理局大会議室において、日頃の創意工夫の成果を発表する森林・林業交流研究発表会を開催しました。

近畿中国森林管理局のほか、県・高校生・幼稚園父母の会などから19課題の発表があり、そのうち、7課題について局長賞等が授与されました。

また、開催後の審査委員会において、審査委員長賞（2課題）の決定がされたので後日各賞の受賞者は次のとおりです。

近畿中国森林管理局局長賞（3点）

遊々の森・森林学習活動の取り組み
 ～「たいようの森」の活動をと～

広島北部森林管理署
 榎原佳子

森林総合研究所関西支所長賞（1点）

大山南壁における治山事業の取組
 対策における関係機関で連携した取組

鳥取森林管理署
 大倉伸悠
 佐伯浩一

（独）森林総合研究所 林木育種センター関西育種場長賞（1点）

子ども達に伝えたいこと
 ～遊々の森の
 締結から～

奈良森林管理事務所
 宮達夫
 ひかり幼稚園父母の会
 藤原雪子、瀧直子、濱上雅子
 大和由美、林裕美

日本森林林業振興会長賞（1点）

登山道における危機管理対策
 ～コール
 ポイント表示板の設置を実施して～

滋賀森林管理署
 安達幸作
 村山正太

日本森林技術協会理事賞（1点）

「低コスト路網を活用した効率的な間伐
 方法の確立」について
 ～初年度の取組を
 終えて～

森林技術センター
 早田慎司
 山口歳弘
 戸川睦徳

審査委員会委員長賞（2点）

地元の木をしよう
 ～J・pod工法による
 モデルハウス建設～

京都府立北桑田高等学校
 矢谷捺月、諸岡唯、大牧和雅
 勝山幸司、松山峰大、宮元和馬

「3つの再生」～森・桜・産業～

奈良県立吉野高等学校
 坊小綾花、中原瞳、北明美
 上口真由

最優秀賞を受賞

～国有林野事業業務研究発表会～

平成20年度国有林野事業業務研究発表会
 が、林野庁で開催され、当局から発表し
 た森林ふれあい部門において、林野庁長官賞
 最優秀賞を受賞しました。

なお、同時に全国木材組合連合会会長賞
 もダブル受賞しました。
 発表課題

「森林環境教育プログラム作成への取組」
 箕面森林環境保全ふれあいセンター
 自然再生指導官 本田 誠



発表及び審査風景



島根森林管理署
 横山直人



岡山森林管理署
 小林亮平



広島北部森林管理署
 榎原佳子

民有林と国有林の連携による森林共同施
 業団地設定の取組PART II
 ～モデル地域設定から次のステップへ～

収穫復命事務を効率化するプログラムの
 開発
 ～収穫調査野帳集計、間伐条件計算、
 刷新システムへの野帳入力自動化～



福田国有林野部長より賞状を受ける本田氏（右）

民有林と連携した森林整備 ①

島根森林管理署は、平成19年5月に、島根県、近畿中国森林管理局及び（独）緑資源機構中国四国地方整備局（当時）との間で締結された「森林整備に関する覚書」に基づき、これまでに民有林と国有林が一体となった森林共同施業団地を県内各地に17団地設定し、多様な森林づくりと木材の安定供給を通じた森林資源の循環利用を進めています。

島根森林管理署のこれまでの取組を以下に紹介します。（計画課）



路網開設と間伐の実施状況 右：間伐未実施 左：間伐実施後（八川国有林）

表1 森林共同施業団地におけるH19年度の施業実績（島根森林管理署）

所有形態	団地内 森林面積 (ha)	(全体計画) 整備面積 (ha)		(全体計画) 利用面積 (㎡)		(全体計画) 路網開設 (m)		うち19年度		
		実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	
										実績
国有林	1,787	506	159	146	19,520	3,340	8,780	20,960	4,635	4,590
官行造林	62	28	0	0	2,500	0	0	0	0	0
県行造林	11	8	0	0	1,100	0	0	0	0	0
公社造林	508	234	24	24	1,385	0	0	5,500	834	500
水資源事務所	272	95	4	4	1,900	0	0	9,460	4,480	4,240
市町村有林	607	121	23	8	1,770	60	60	2,000	0	400
私有林	1,384	151	11	10	6,120	343	390	16,550	2,150	1,500
計	4,631	1,143	221	192	34,295	3,743	9,230	54,470	12,099	11,250

注：水資源事務所は旧緑資源機構造林地

1 平成19年度の団地設定状況と施業実績

平成19年度は13団地（面積約4,600ha）が設定され、団地内を循環する効率的な路網整備や高性能林業機械による間伐が進められています。（表1）

これらの団地では、221haの間伐が実施され、3,743㎡の間伐材が合板用材などとして利用されました。また、効率的な森林整備を行う上で欠かせない路網については12,099mが整備されました。

間伐実績と路網整備の全体計画に対する進捗率は約20%となっており、5年計画の1年目としては順調に事業が実施されています。

2 団地内における効率的な森林整備に向けた取組

島根森林管理署では、森林共同施業団地内での森林整備と木材の安定供給を進めるために、団地関係者と連携した現地検討会等を継続して開催し、情報交換を実施しています。

(1) 団地設定に向けた取組（民有林への働きかけ）

島根森林管理署、島根県及び松江水源林整備事務所は、平成22年度末までに50箇所程度（面積約1万ha）の森林共同施業団地の設定を目標に、島根県内各地で関係者との協議を進めています。

民有林と連携した森林共同施業団地の設定を進めるためには、民有林関係者に参加を呼びかけるだけでなく、具体的な候補地を選定した上で働きかける必要があります。

このため、島根森林管理署では、国有林の候補地リストを取りまとめ、民有林担当者との情報を共有し、団地設定に向けた協議を進めています。候補地の選定は、現地の路網開設状況、資源状況を踏まえた検討が必要であり、現場を必ず見る森林官が重要な役割を担っています。

(2) 低コスト作業路網開設に向けた検討

共同施業団地内での間伐等の森林整備や森林資源の有効利用を進めていくためには、低コスト路網に加えて列状間伐と高性能林業機械を組み合わせた効率的な作業システムの構築が必要です。

また、低コスト路網の規格、開設方法等については森林共同施業団地の関係者間で共有する必要があります。

このため、島根森林管理署は、島根県及び松江水源林整備事務所と共同で、平成19



図2 森林共同施業団地位置図



集材作業の様子

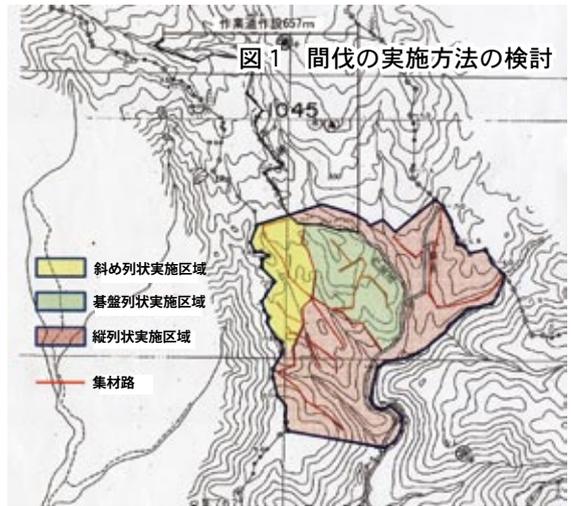


図1 間伐の実施方法の検討

表2 20年度に設定した団地内の森林面積

所有形態	団地内森林面積 (ha)
国有林	802
官行造林	175
県行造林	5
公社造林	82
水資源事務所	756
市町村有林	499
私有林	781
計	3,100

3 平成20年度の団地設定状況
平成20年度はこれまでに図2にある4団地を設定し、本年度末までに計8団地の設定を予定しています。

11月に開催した現地検討会では、この伐倒方向の違いによる作業効率についても検討を行いました。当該地の現場作業では集材路に対して斜めの列状伐倒が実施しやすいとの意見が出されましたが、伐倒方向と作業効率性は地形などに影響を受けることもあり、今後、地形の異なる現場での検証が必要となっています。

(3) 効率的な間伐の実施方法に関する検討
八川地域森林共同施業団地では、より効率的な集材方法を検討するために請負事業者が図1にあるように、①集材路に対して直角の列状伐倒、②集材路に対して斜めの列状伐倒、③集材路に対して基盤目の列状伐倒を実施しています。

年の6月と9月に、市町村、森林組合、林業事業体等に参加を呼びかけ、低コスト作業路開設のための講習会と現地検討会を開催しました。
さらに、本年度は11月に八川地域森林共同施業団地において、本局作成の「抵コスト路網生産システム」指針等を紹介するほか、設計方法、支障木の取扱、丸太組の施工方法等について現地検討会を開催しました。

4 まとめ
鳥根県において民有林と国有林が連携した森林施業団地が設定できた背景には、①国有林の候補地リストを民有林担当者と共有し、②森林施業技術に関する現地検討会を通じて情報交換を実施するなど、民有林担当者と目標や具体的な方策を共有してきたことが大きく影響しています。

また、本年度、鳥根森林管理署において森林組合を対象に実施した「森林共同施業団地に関するアンケート調査」では、森林共同施業団地の設定が地域の林業活性化に貢献するとの好意的な回答を得ています。このように鳥根森林管理署では団地内の施業実績、進捗状況等の検証に加えて、アンケート調査も踏まえ、今後の団地設定に取り組むこととしています。

本年設定した4団地の所有形態別面積は、表2にあるとおり、総面積3,100haとなっており、平成19年度の4,631haと比較すると、1団地当たりの面積が大きくなっています。
これは特に、1団地当たりの私有林面積が昨年の約100haから約200haへと約2倍となっており、森林共同施業団地を設定することのメリットが徐々に民有林に浸透してきていることがうかがえます。

アンケート調査の結果については、次号で紹介させていただきます。

山頂から360度の眺望

たかみくらやま

「高御位山国有林」

兵庫森林管理署 ③⑥



高御位山国有林(面積84.08ha)は、加古川市と高砂市との境(瀬戸内海から8km)に位置し、全区域が土砂流失防備保安林に指定されています。

当国有林を含む瀬戸内海沿岸山地は、第4世紀以降の隆起、沈降が繰り返されたこと及び気象等の要因でせき悪林地帯となっており、傾斜地の斜面部は基岩が露出した岩石地となっています。林分状況は生育不良なアカマツ・コナラの二次林で覆われ、下層にはヒサカキ、ソヨゴなどの常緑樹が茂っています。

播磨平野の加古川下流域では、高い山が少なく高御位山が加古川市・高砂市の最高峰で、その美しい姿から「播磨富士」と呼ばれ標高304.2mと低山ながら、「関西の百山」、「ふるさと兵庫の50山」にも選ばれています。尾根づたいで行ける「別所奥山国有林」を含む付近の山々は「播磨アルプス」と呼ばれており、休日には1000人を超える登山者が訪れる、人気

の登山スポットとなっています。

また、古くから山全体がご神体として信仰を集めており、山頂には岩場を磐座いわざとしていた高御位神社があり、大己貴命おのおのののみこと、小彦名命すくなひなののみことの二神がお祀りされています。なお、古くは欽明天皇(即位539年)の頃にはすでに祠があつたと古い書物には書かれています。

山名の由来は山頂に高御位神社が建立されていることによりですが、山頂の「神霊降臨の地」と立札のある大きな岩上に立つと、360度の大展望が広がり、眼下にはのどかな田園風景、天気が良ければ遠く六甲連山・淡路島・四国まで見渡せ、夕日はとても綺麗です。

また、毎年元旦には御来光を拝むため多くの登山者で賑わいます。

山頂には、大正10年に山頂から自作グライダーでの関西初飛行(300m)を成し遂げた、地元加古川市出身の渡辺信二氏の偉業をたたえる「飛翔の碑」が建っています。

なお、山頂へは加古川・高砂両市から30近い登山ルートがあり、加古川市成井登山口から石段を登れば40分程度で登れます。公共交通機関の便が良い高砂市鹿島神社から百間岩・鷹ノ巣山(別所奥山国有林)を経て高御位山を縦走するコース(約3時間)が人気のようです。加古川・高砂市の両市民に親しまれ、ゴミもほとんど無く登山道・標識等も整備されています。電車・車で交通の便も良いので、散歩気分ですら300mとはとても思えない360度のパノラマを一度楽しまれてはいかがでしょうか。



加古川市側から望む高御位山



山頂から瀬戸内海方向を望む

◆高御位山へのアクセス

公共交通機関の場合 JR山陽本線宝殿駅下車↓徒歩60分(加古川市志方町成井登山口)

車の場合 加古川市志方町成井登山口駐車場(無料)

〒六七二-二五七三

兵庫県宍粟市山崎町今宿

100-1

TEL050-3160-6170

FAX079-621-4790

http://www.kinki.kokuyur.in.go.jp/yougo



各署等の取組・行事の紹介

きれいな紅葉の中、こどもエコクラブで樹木観察会

【島根森林管理署】奥出雲町立馬木小学校で取り組んでいる環境活動クラブ「こどもエコクラブ・馬木っ子ふるさと環境探偵団」の樹木観察会が11月9日、「秋の樹木観察会〜秋のサイレン山を楽しもう」をテーマに、同校を見下ろす愛宕山（通称サイレン山）において開催されました。

愛宕山は同校のかたわらに登り口がある小高い丘でその昔、防災用のサイレンが置かれていたことから、地元では通称サイレン山と呼ばれており、今回は、山の頂上までの歩道沿いに生育する種類ごとの樹木の

樹木の特徴について説明する職員



特徴を学ぶことになりました。

当日は、小学3年生から6年生の児童8名が参加。教頭先生、横田森林官、本署駐在の管理官が約40種類の樹木の特徴を説明。児童は、コシアブラを手に「手のひらのように5枚の小さな葉がある」、クロモジの枝を嗅いで「いい香り」と樹木の特徴を五感で感じとっていました。

約1時間の観察を終え、いよいよ子ども樹木博士の認定試験を開始。試験は観察した樹木の中から20種類を選んでその樹木名を当てるものです。

葉をちぎり臭いをかぐ子、葉を握り堅さを確かめる子、それぞれ特徴を見極めながら解答用紙に書き込んでいました。試験結果から全問正解者はいませんでした。8級から初段までの級・段が決まり、認定書を授与しました。

最後に参加者全員から感想があり、「昨年よりも級があがり、うれしかった」「初めて参加したけどたくさん樹木が覚えられてよかった」など、素直な感想が寄せられました。

インターンシップで加古川南高校の生徒を受け入れ

【兵庫森林管理署】インターンシップは、学校教育の一環として、生徒が「社会的なマナー」を身につけるとともに、「働くことの意義」を学ぶため、様々な事業所を対象

として実施されています。

当署においてもインターンシップの趣旨を踏まえ、今年度も10月29日から31日の3日間にあわせた、加古川南高校の1年生5名を受け入れました。

森林官が講師となり、清水坂国有林などをフィールドとして、間伐作業、登山道パトロール、境界巡視等を実施しました。

間伐作業では、森林官から事前に、地球温暖化防止についての話題提供を行って、実際の作業を体験することにより、間伐の重要性を理解してもらうことができました。また、生徒の中には、登山が好きで山に行きたかったという生徒がおり、登山道パトロールも好評でした。

様々な作業体験を通じて、インターンシップの趣旨を実践することができました。加えて、国有林という自然の中で解放感も味わうことができ、普段の学校生活とは違う何かを発見することができたのではないのでしょうか。

間伐の重要性について学ぶ生徒



「三朝温泉かじか蛙保存研究会」が植樹

【鳥取森林管理署】10月19日、中津国有林（三朝町）において、「三朝温泉かじか蛙（かえる）保存研究会」が町内外の親子連れ60人で広葉樹の植樹を行いました。

同研究会では、平成8年から三徳川の流域でボランティアによる植樹を続けており、今年で14年目で国有林では4箇所目になります。

当日は、天候にも恵まれ快晴の中で実施され、当署からは、署長と倉吉首席森林官が参加し、ブナ、カシワ、モミジなど5種類の広葉樹200本を植樹しました。

植栽箇所には一部固い所もありましたが、参加者は一本一本丁寧に植えています。

植樹に汗を流す参加者



アサヒの森で森林管理署イベント
協力し小学生が世界でひとつだけ
の地球温暖化防止の絵本を作るプロ
ジェクト

【広島北部森林管理署】(社)青少年育成広島県民会議の「夢配達人プロジェクト」に選ばれ、「地球温暖化の真実を知ってもらおう絵本を作りたい」との「夢」をいただく庄原市立峰田小学校5年 五刀円ごとうまるだかさんを支援しているアサヒヒール(株)アサヒの森林環境保全事務所の取り組みに協力し、10月10日、庄原市比和町のアサヒの森で開催されたアサヒ森の子塾に参画しました。

当日は、峰田小学校5・6年と庄原小学校6年生の93名が参加し、子ども達は、同署の森林インストラクターの案内で、森を散策しました。

県北の自然を満喫した子ども達は、「負けるなキジバト」という創作絵本を発表し、最後にクリの木を記念植樹して閉講しました。



森の子塾の様子

大山森林生態系保護地域自然観察会の開催

【鳥取森林管理署】近畿中国森林管理局では、大山森林生態系保護地域において、森林の生態、大山の地形・地質や動植物に詳しい専門家10名を「森林生態系保護地域保全管理協力員」として委嘱し、保全管理活動の一翼を担っていただいています。

保全管理協力員と森林管理署では、森林生態系保護地域での取り組みをより多くの方々に理解していただくために毎年秋季に自然観察会を開催しています。

本年は10月28日、新聞公募等により応募した15名が、なだらかなブナの樹海「奥大山健康の森(江府町)」、鳥越峠(江府町・琴浦町)を散策しながら、植生や野生動物、歴史文化などの解説を受けつつ、深まる秋の紅葉を楽しみました。



保全管理協力員の解説に耳を傾ける参加者

シリーズ

森を守る

落石の被害を防ぐ

地震などの影響で、山腹斜面にある浮石や転石が落下することがあります。平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、直径5mの石が山裾の住宅地に落下しました。

森林には、樹木の根張りによつて浮石や転石を固定する働きや、立木が落石を受け止める働きがあり、治山事業では、落石のおそれのある山腹斜面への森林造成に取り組んでいます。しかしながら、森林は育つのに長い期間が必要であり、また、規模の大きな落石には対応できないことから、森林の働きと組み合わせ、落石防止工事を行うことがあります。工事の種類には、浮石や転石をワイヤーロープなどでその場に固定する、または、斜面から取り除く落石予防工、落石を受け止める柵や網を設置する落石防護工があります。



兵庫森林管理署では、森林の働きと組み合わせ、落石防止工事を行いました(宍粟市、音水園有林)



森林内の立木は、落石を受け止める働きがあります(宍粟市)



阪神・淡路大震災では、山腹斜面にあった直径5mの石が山裾の住宅地に落下しました(西宮市)